

チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	市内施設や市有地などの新たな活用のアイデア	室蘭市
アイデア名 (注2) (公開)	室蘭だんぱらへ GO! ～キッズもシニアも旅行者も！体験型アクティビティは ACTRAN にお任せ！～		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	U-18 室蘭元気バクハツ隊		
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数 (公開)	9名		
代表者情報	堀切 辰希		
メンバー情報	氏名 (公開)	小野 雄大、畑田 瑞生、高橋 翔吾、板林 玲、大沼 寿々歩、坂本 美月	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイザーの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。

7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題> 市街地から車で15分の距離にあるダンパラ高原（公園）には、リフト1基のなだらかな斜面のスキー場がある。子供やスキー初級者に広く愛されたスキー場だが、機材老朽化のため、閉鎖の危機を迎えている。また、室蘭市では地元の子供やシニアの方が健康維持のため、野外で活動できるアクティビティやイベントが不足している。そして、観光客が参加できるアクティビティがほとんどないことが課題であった。

<解決アイデアの内容> 次の事業所を設立し、アクティビティを提供する。

事業所名：【ACTRAN】（アクトラン） ※ACTIVITY in MURORAN の略造語



ACTRAN で扱うアクティビティは下記の16メニューとする。(青は実施月)

NO	ACT:MENU	ガイドまたはインストラクター	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	フリーキャンプ													
2	ジュニアキャンプ	○												
3	トレイルウォーク(夏期)	○												
4	登山	○												
5	ヨガ(野外・室内)	○												
6	マウンテンバイク	○												
7	夜景・天体観測	○												
8	スカイフィッシング	○												
9	パークゴルフ													
10	テニス													
11	スポンジテニス(体育館)	○												
12	BBQ													
13	4輪バギー	○												
14	スノーモービル	○												
15	クロスカントリースキー	○												
16	トレイルウォーク(冬期)	○												

これらアクティビティは事前申し込みとするが、提携する室蘭市のビジネスホテル内での広告、またホテルのホームページにも掲載する。ホテルのバスを利用し、宿泊客はホテルからマイクロバスにて送迎を行う。(ルートイン、サンルート、ドーマインにおいて、実施の承諾済)ホテルの宿泊がなくても、ホームページ、電話での予約を行うことが可能。実施の2時間前まで予約が可能。

室蘭市民限定で会員権を販売。NO2、13、14を除くすべてのアクティビティに何度でも参加可能で、月額3,000円で販売する。(入会金1,500円)また、ホテルが運行する送迎バスを利用する場合、月額500円で乗車が可能となる。

スキー場のナイター設備があるため、クロスカントリースキーは夜間にも実施する。その際には日本で唯一のパノラマ夜景の見えるクロスカントリーコースと銘打って広告する。

パークゴルフ、クロスカントリースキー、マウンテンバイクについては、大会も誘致し、大規模なイベントの開催も狙う。

【競合する業種について】

室蘭自体にはこのような総合アクティビティがない。市やホテルからも、室蘭でできるアクティビティの創設が急務、と話を聞いている。同じ北海道ではニセコに同様のアクティビティあるが、各アクティビティを実施できる場所が遠く、一か所に集中していない。家族で別々のアクティビティができないことや、大人向けが多く、子連れでは大変だと考えられる。また、ビジネスホテルとタイアップしたものは見つけられなかった。レジャーアクティビティの多くは、単体での販売もしくは、大規模レジャーホテルがほとんどであった。

⑦ ホテルでのヒアリングを行った。

ドリーミンの副支配人作田健人さん

ルートイン室蘭の責任者の田村咲さん

サンルート室蘭副総支配人齋藤展男さん



【市役所・ホテルのヒアリングより】

- ・ だんぱらスキー場にはどのような魅力があるのかを市の職員の方を交えてディスカッションをすると数多くの魅力があり、冬のスキーだけではなく様々な体験ができるレジャー施設として活用することができるといった。独自の都市近郊体験型レジャー施設として他のスキー場と差別化を図ることができると考えた。
- ・ 室蘭には外国人観光客（特に中国・韓国・台湾）が増えてきており、ホテルの需要が高まっている。最近では温泉付きの宿泊費の高いホテルより、安く手軽に宿泊できるビジネスホテルを利用する観光客が増えてきているとのこと。室蘭市内にはビジネスホテルが多数あり、施設数も近年で増加している。登別や洞爺湖の温泉ホテルとはニーズを切り離し、ビジネスホテル宿泊・体験型観光地として室蘭を売り込むことを考えた。
- ・ 室蘭在住フォトグラファーの関浩勝さんにお話頂いた際、室蘭には中心部から車で20分以内の場所にフォトジェニックなスポットがたくさんあり、だんぱらスキー場からみる夜空の星は天文業界で注目されているほどの景色だと教わった。また、室蘭天文協会の方が「だんぱらからの眺めは素晴らしく全国から注目されていて、このまま閉鎖にしまうのはもったいない」とのこと。この景色は集客のためのアピールポイントになると確信した。
- ・ 現在のスキー場運営費の1145万円を次の事業に充てることができると伺った。



だんぱらからの夜景



市街地から車で15分というアクセスの良さと、アクティビティ・イベントを実施するエリアを集約することにより、手軽に訪れることができ、活気のあるポイントを形成できると考える。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

【想定ターゲット】

- A：室蘭近郊の市民（室蘭市 8.5 万人+登別市 4.8 万人+伊達市 3.4 万人）のうち、
60 歳以上 5.8 万人、小学生 0.8 万人をメインターゲットとする。
- B：室蘭市内の海外旅行者 1.8 万人
- C：室蘭市内への国内旅行者 120 万人

【具体的な販売方法】

- ・ 下記①～③の方法で前日までに申し込みを行う。
- ①ホームページからの申込 <https://sapporookadama.wixsite.com/actran>（仮設）
- ②ACTRAN 事務所への電話申込
- ③提携ホテルでの販売
- 1) 宿泊とアクティビティセットの申込※上記は 3 ホテル了承済
 - 2) ホテルホームページでの掲載、リンク掲載
 - 3) ホテル内でのチラシ、ポスター案内
- ③はホテルから ACTRAN への申込となる。料金は基本プラン料金とし、月締めでホテルに徴収に訪れる。提携のキャンペーンの中で割引等も行い、ホテル、ACTRAN 双方に利益がもたらされるように協議する。
- ・ 現地まではホテル宿泊者はホテルからの送迎、その他のお客様は直接だんばらに来ていただく。集合場所の詳細は申込時にメールまたは電話で伝えておき、集合後各アクティビティを実施する。
 - ・ 実施中、終了後は写真撮影を行い、記念としてデータを持ち帰ったり、ACTRAN では SNS での発信をしたりする。（お客様の同意を得た場合）
 - ・ 帰宅については集合と同様にホテルバス送迎またはお客様自身でお帰りいただく。

【広告方法】

- ①室蘭市観光協会のホームページに掲載
- ②新聞折り込みチラシ（キャンペーン等）
- ③宮古市へのプロモーション（フェリー航路先）
- ④海外予約サイト（アゴダ、エクスペディア）掲載
- ⑤室蘭市内小学校への告知
- ⑥室蘭市内各スポーツ団体への告知
- ⑦室蘭市各体育館での情報板への掲示
- ⑧スタッフからの SNS 発信

【必要な経営資源】

- ①ボランティアスタッフ：各アクティビティのガイドもしくはインストラクターとして、指導が可能なスタッフを有償ボランティアとして集める。（シニア層の活用）
- ②アクティビティに必要な機材：レンタル用品、バギー、モービル（及び整備ができる人材）
- ③運営事務所：だんばらロッジ（休憩室として開放している空間の一部 25 m²）
- ④送迎のバス（ホテルで使用許可済）

【実現に向けての課題と対策】

- ・ 申し込み多数の場合のスタッフや機材の確保ができるかどうか⇒ホテル、旅行社との連絡を密にして、早い段階での予約数確保とスタッフの調達を心がける。
- ・ 天候の問題⇒ホームページ上に天気予報を組み込み、開催の可否をできるだけ早く告知。
- ・ ケガの処置⇒スタッフの救護研修、安全管理研修を行い、お客様には保険を準備しておく

- ・コトバの壁⇒ホームページでの英語案内、英語の説明書の準備、スタッフの研修を行う。また、室蘭工業大学の留学生を通訳ボランティアとして募集する。
- ・スタッフのスケジュール管理⇒申込確保と同様、早い段階でのスケジュール管理を行い、スタッフに連絡する。採用時にもイレギュラー勤務があることを通知しておく。

【収支計画】

		1年後	5年後	計算方法
売上高		2332万円	3178万円	<ul style="list-style-type: none"> ・売上はアクティビティの売上+レンタル代+市からのスキー場維持資金（1145万円）+会員売上（3,000円/月×20人×12ヶ月=720,000円）を見込む。 ・製品の販売はないので売上原価は計上していない。 ・人件費は有償ボランティアへの支払い（単価1,000円/時間）とする。ガイド人数×実施回数×ガイド単価×必要時間（p.5、6）で計算。 ・社員（2名を予定）の給料は含まれていない。 ・家賃はだんぱらロッジの一部 25㎡を借用する（月額12万円水道光熱費を含む） ・その他は消耗品費、ガソリン代、整備費を計上。 ・用具、機材の初期購入費用は計上していない。 ・5年後収支は知名度向上と旅行客増を見越し、推定人数1.5倍+登録会員人数を100人（20→100）と見込んだ。
売上原価		0万円	0万円	
経費	人件費	428万円	642万円	
	家賃	144万円	144万円	
	宣伝広告費	120万円	120万円	
	その他	163万円	244万円	
合計		855万円	1150万円	
利益		1477万円	2028万円	アクティビティごとの売上、経費は下記に記載。

NO	ACT:MENU	実施回数	売上	レンタル代	消耗品	ガソリン	整備費	ガイド人数	ガイド代	備考
1	フリーキャンプ	196	490,000	-	20,000	-	140,000	-	-	週一回清掃
2	ジュニアキャンプ	20	350,000	-	20,000	-	-	3	1,440,000	テント、設営具の準備
3	トレイルウォーク(夏期)	84	420,000	-	20,000	-	-	1	168,000	コース整備用消耗品
4	登山	84	420,000	-	20,000	-	-	1	504,000	登山道整備用消耗品
5	ヨガ(野外・室内)	240	1,200,000	-	30,000	-	-	1	360,000	マット他消耗品
6	マウンテンバイク	196	490,000	245,000	30,000	-	25,000	1	294,000	マウンテンバイク5台
7	夜景・天体観測	144	720,000	-	10,000	-	50,000	1	576,000	望遠鏡3台
8	スカイフィッシング	84	210,000	-	10,000	-	20,000	1	84,000	釣り竿、風、10セット
9	パークゴルフ	168	840,000	252,000	30,000	-	50,000	-	-	球、クラブの消耗
10	テニス	168	420,000	126,000	30,000	-	20,000	-	-	球、ラケットの消耗
11	スポンジテニス(体育館)	192	960,000	288,000	30,000	-	-	1	288,000	球、ラケットの消耗
12	BBQ	168	420,000	-	10,000	-	140,000	-	-	週一回清掃
13	4輪バギー	168	840,000	-	200,000	100,000	100,000	1	84,000	バギー3台
14	スノーモービル	168	840,000	-	200,000	100,000	100,000	1	84,000	モービル2台
15	クロスカントリースキー	168	840,000	420,000	50,000	-	50,000	1	252,000	板、靴、ストック、ウェアー20セット
16	トレイルウォーク(冬期)	72	360,000	-	20,000	-	-	1	144,000	コース整備用消耗品
			9,820,000	1,331,000	730,000	200,000	695,000			4,278,000

これら収支計画をもとに、用地の使用許可、初期費用の調達、ACTRAN 代表者を決定するとともに、各種認可、登記を進めていくことになる。事業所を設立した後、スタッフの調達、研修を行い、実際に事業が開始できるまで2年程度を目標に考えている。